NIE実践報告

1．タイトル：**新聞に親しみ、生かし、表現力アップ**

2．学校名

熊本県八代市立鏡小学校

3．実践者名（代表者名）

平嵜清和

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間（関連　社会）　32人

6．単元（本時の学習課題）名

「新聞のよさを調べよう」

7．目標(狙い)

新聞記事とテレビのニュースを比較させながら、新聞記事独特の読者をひきつけるための工夫について自分たちの考えを元に確かめる。

8．評価の視点

○他のメディアにはない読者をひきつける工夫について自分たちなりの考えを持つ。
○自分たちの考えた読者をひきつける工夫について確かめる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「暮らしを支える情報」［社会：2時間］
「新聞のよさを調べよう」［総合的な学習の時間：6時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①各メディア（新聞・テレビ・ラジオ・インターネット）のよさを比べる。（2時間　社会）
②新聞から工夫していることが分かる記事を選ぶ。（1時間）
③選んだ記事に共通することを考え、新聞の記事の工夫について班で意見をまとめる。（3時間）
④新聞記事の工夫についてまとめたことを発表し、新聞記者の方に意見を聞き確かめる。（2時間）

（留意点）
- **各メディアを比較するときには、「どのメディアをよく利用する」などの多数の意見だけでなく、「こんな使い方している」などメディアのよさに触れる意見を中心に比較をさせる。**
- **記事から新聞の工夫について考えを持たせるために、「どうしてこの記事を選んだの」「この2つの記事に似ている所はない」「他のメディアにはない点を見つけよう」など考えを進める方向づけを心がける。**
- **新聞記事の工夫について記者の話を聞き確かめるだけでなく、記者の思いに触れるように指導者で補足をしていく。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

- **自分たちが考えた新聞記事の工夫が正しかっただけでなく、その工夫を毎日新聞社の方はされていることが分かりもっと新聞をしっかり読みたいと思った。**
- **テレビ等に比べ新聞記事は書いた人の思いが表現されていることに気づいた。**

12．成果と課題

（成果）
子どもたちが新聞記事について、出来事を伝えているものだを考えていたが、この学習を通して新聞社の方が記事に思いをこめて製作されていることに気づき、新聞がもっと身近なものとして感じられた。
（課題）
時間に余裕があれば、調べた工夫を生かしながら、身近な題材を元に新聞作りに取り組めるともっと効果があがると考えられる。